

1. 主題 自然とかかわる活動や体験を通して、自然の不思議さや面白さを実感する  
『校内の樹木調べ及び植物栽培』

2. レポートの要点

自分たちの生活を見つめ直し、環境学習を通して、自ら考え実践できる生徒を育む取り組み

3. 目標 ①自分と身近な植物との関わりに関心を持ち、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。  
②自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどを言葉、絵、動作、劇化などにより表現できるようにする。  
③具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。

4. 概要 本年度、特別支援学級の理科を週1時間担当することになった。支援学級での理科は週3時間を二人の教員で担当した。

自分の担当時間には、2年生一人。3年生四人いるのですが、ほぼ寝ているかヘッドホンをつけている生徒や、独り言を繰り返す生徒等様々な課題を抱えており、支援員のサポートがあっても全員が同時に同じ作業をすることが難しいと感じ、四月初めての授業で理科室に行く時、3年生の生徒の一人が「初めて理科室に来た」と喜びの声をあげた。授業での実体験はあまりなく、あっても記憶に残らないものだったのではないかと感じた。

平成24年に開かれた初等中等教育分科会での、特別支援教育の在り方に関する特別委員会で、『障害のある子どもが十分に教育を受けられるための合理的配慮及びその基礎となる環境整備』という報告を見つけた。

○「合理的配慮」とは、「障害のある子どもが、他の子どもと平等に「教育を受ける権利」を享有・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うことであり、障害のある子どもに対し、その状況に応じて、学校教育を受ける場合に個別に必要とされるもの」であり、「学校の設置者及び学校に対して、体制面、財政面において、均衡を失した又は過度の負担を課さないもの」、と定義した。なお、障害者の権利に関する条約において、「合理的配慮」の否定は、障害を理由とする差別に含まれるとされていることに留意する必要がある。

「合理的配慮」の考え方については、特別な支援が必要な子どもの中には、必要かつ適当な変更・調整を行わなければ、授業が分からない、学習活動に参加している実感が持てない子どもが見られ、そのような場合に必要とされると考える。

授業のユニバーサルデザインにより、特別な支援が必要な子どもに焦点を当て、その子どもを包括できる授業を構成し、指導目標を焦点化したり、視覚化により見通しが持てたりするなどの必要に応じた個別の配慮をすることも、「合理的配慮」かと考えた。

支援学級での理科では、今までの学習してきたであろう内容の記憶の断片を探りながら授業を展開しつつ、理科教育・環境教育での感動を大切に、今後通級での授業への意欲を持てるようにしたいと考えた。

そこで、本年度は、植物の栽培を通して、その生長に対する喜びや感動、命の尊さなどの感動をさせてみようと考えた。

生徒5名と、身近な植物に興味関心を持てるよう、理科の時間はのんびりと校外を散歩したり、それらを観察後、標本にしたり、葉作りを試みた。葉の形の違いに興味を示したのは短時間だった。やはり自分たちで育てたものを観察させるなどのさらなる興味付けが必要かと感じた。植物栽培については、開花や収穫、つるの成長など、植物の生長そのものを体験

させたかったが、うまく成長せず途中で枯れてしまったり、水やりなどの作業について連携をうまくできなかつたりして、本年度はうまくいかなかった。何冊か栽培書なども読んだが、やはり専門科の指導を受ける準備を来年度はしたいと考える。地元の高校等とも連携をたりつつ進めていきたいと思う。またプレート作りも再度挑戦したい考えている（安全面の工夫が必要だったため途中断念）。



#### 【参考文献】

- 1) 文部科学省, 2012年, 中学校学習指導要領解説「理科」
- 2) 放射線等に関する副読本作成委員会, 2011年, 『知ることから始めよう 放射線のいろいろ』
- 3) 特別支援教育の在り方に関する特別委員会(第14回), 2011年, 特別支援教育の在り方に関する特別委員会及び合理的配慮等環境整備検討ワーキンググループにおける意見の概要(資料3-1)
- 4) 初等中等教育分科会(第80回), 2012年, 障害のある子どもが十分に教育を受けられるための合理的配慮及びその基礎となる環境整備(資料1)
- 5) NPO法人緑のカーテン応援団, 2011年, 『育てて楽しむはじめての緑のカーテン』, 家の光協会
- 6) NHK出版編集, 2014年, 『趣味の園芸 イラストでわかりやすい緑のカーテンの育て方』, NHK出版
- 7) 菊本るり子, 2012年, 『みどりのカーテンをつくろう』, あかね書房
- 8) サカタのタネ「緑のカーテン」普及チーム, 2013年, 『花も実もある よくばり!緑のカーテン』, 農村漁村文化協会